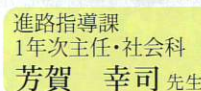
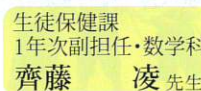


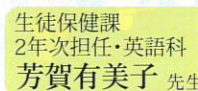
健全育成部長



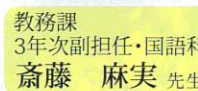
地元、荒砥高校に赴任できました。生徒と一緒に勉強や部活に頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。



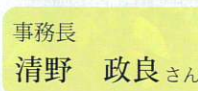
今年度より荒砥高校に赴任してきました齊藤凌と申します。未来を担う生徒たちに希望を与えていけるように精進して参ります。



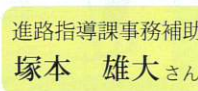
元気で優しい生徒たちと共に、白鷺^{しらぎ}そして置賜^{しやまね}の明るい未来を創^{つく}っていければと思います。よろしくお願いいたします。



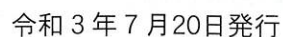
初めまして、斎藤麻実と申します。初の置賜を楽しみつつ、笑顔と挨拶が素敵な生徒の皆さんと共に学んでいきます！よろしくお願い致します。



白鷹山のトンネルを抜けると雪が残る雄大な朝日連峰と緑に囲まれた街が……！これからこの学校と白鷹町のために精一杯頑張ります。



校務補助として進路指導室に配属になりました。事務の仕事は初めてですが生徒の進学や就職のサポートに努めます。よろしくお願い致します。



発行：山形県立荒砥高等学校 PTA・後援会
編集：山形県立荒砥高等学校 PTA 文化部
連絡先：〒992-0831
山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥甲367
TEL (0238)85-2171 FAX (0238)85-2823
URL <http://www.arato-h.ed.jp/>

Vol.
87



PTA会長

令和三年度もコロナ禍のスタートとなりました。一昨年のPTA活動は途中でできなくなり、昨年のPTA活動はまったく実行することができませんでした。今年は何ができるのか、生徒たち、職員の先生方、PTA役員の方々の命と健康を守りながらどこまで活動ができるのか、保護者の皆様にとどのような活動をご理解いただきながら実行することができのかを考えながら計画をしていきたいと思っています。

観点から実行することはできないと思います。何ができるのか明確にできませんが役員でアイデアを募り考えていきたいと思っています。

最後になりますが荒砥高校の活動にご協力頂いている白鷹町の皆様、荒砥高校魅力化に係る地域連携協議会の皆様、後援会の皆様に深く感謝申し上げます。一昨年より一クラスになりましたが皆様の多大なるご支援に重ねてお礼申し上げます。

校長先生をはじめ先生方や職員の皆様、そしてPTAや職員の方々には今年一年の活動を共に考え生徒たちが自分たちで考え実行したいと願うことを叶えられるようにご協力をお願い致します。保護者の皆様も今年一年のPTA活動へのご協力よろしくお願い致します。



PTA文化部

部 員	副 部 長	部 長
小松麻里子	鈴木 京子	菅間 務
迎田 一昭	渋谷 英明	
小口 弘幸		
小林 政雄		
小関由利子		

編集後記

□ナウイルスの影響により様々な活動が制限される中、今年度は地区総体や体育祭が徹底した感染対策実施のもと開催されました。マスク越しですが生徒の笑顔や頑張る姿が多く見受けられ、充実した高校生活を送っているように思います。

今年度は本校が地区PTAの幹事校ということで、会員の皆様におかれましては今後ともご協力のほど宜しくお願い致します。



令和三年六月十八日(金)
 荒砥高校伝統行事のひとつである「体育祭」が開催されました。
 今年度は、コロナ感染症対策として、生徒・教職員のみ参加、平日での開催、競技内容や時間を縮小しながらの実施ということになりました。しかし、昨年度は「体育祭」自体開催できなかったことを考えれば、今年度再び本校の伝統を紡いでいたことは、大変喜ばしいことでした。
 「体育祭」のハイライトは赤軍、白軍の「ダンス」披露。短い準備期間の中で、三年生の組幹部を中心に作り上げたものです。両軍とも息の合ったすばらしい「ダンス」でした。
 様々な制限がある中での「体育祭」。競技が終わった後、演技した後の生徒たちの充実した表情！実に、すがすがしい気持ちにさせられました。
 来年度からは、荒砥高校は全年度とも一クラスになってしまします。本校の伝統的な行事をどのように繋げていくのか、生徒・職員で真剣に検討していきたいと考えています。

体育祭ハイライト
 Twitterはこちらから



生徒会総会も新しい様式で



令和三年度
 生徒会執行部

着実に魅力化へ

後援会長
 菊地 豊宗



コロナ禍が未だ終息の見通しの立たない不安定な状況下にも拘らず、会員の皆様には、荒砥高校の教育活動支援の為に、物心両面にわたってご支援ご協力を戴いていただくことに心より感謝申し上げます。

荒砥高校は昨年度、荒砥高等学校魅力化に係る地域連携協議会を設置し、魅力化や活性化に向けて様々な角度から検討され、事業に取り組み、できた経緯が、令和三年度の地域連携協議会に於いて報告がなされました。

荒砥高校は一学年一学級の小規模校であるが故に、その特色を生かし、生徒一人ひとりに目を行き届かせた指導、支援が学習指導のみならず、生活支援や進路確保に至るまで、きめ細やかな対応を実践して来られた様です。

その成果が、協議会の席上、白鷹中学校校長の赤間先生の感想の言葉から伺い知れました。それは、白鷹中学校から荒砥高校に入学した生徒たちが書く力や表現力等を通して着実に成長してきていると評価されたことであります。

成長を支える力は、部活動においても発揮され、囲碁部やテニス部・吹奏楽部等において大きく生かされてきていると言えます。

この陰には教職員が一体となって、新たな魅力ある荒砥高校を築き上げることを目標に精進努力して来られた結果で、魅力化に向けて着実に歩を進めて来られたものと思います。後援会会員の皆様には、不確実な社会情勢の中で大変かと存じますが明日の白鷹町を支える人材育成の為に、何卒ご支援賜りますようお願い申し上げます。

小さくてもキラリど
 光る学校に

校長
 地主 佳子



後援会の皆様には、日頃、本校の教育活動に、多大なるご理解とご協力を賜り、心より御礼を申し上げます。

本校は、今年創立七十三周年を迎えました。稲荷台の桜が満開となった四月八日に入学式を挙行し、二十七名の新入生を迎えました。二・三年次生と合わせて八十四名の生徒たちが学習に部活動にと熱心に取り組んでいます。

五月に行われた置賜地区総合体育大会では、テニス部が女子シングルス一位、二位、ダブルス一位、男子ダブルス第三位という好成績を上げ、県大会に進出しました。また、文化部では、囲碁で女子が団体、個人ともに県大会で優勝し、全国高校囲碁選手権大会、全国高校総合文化祭和歌山大会の出場権を獲得しました。吹奏楽部は、東京オリンピック聖火リレーが白鷹町を通過する際

のセレモニーで演奏を披露しイベントを盛り上げました。現在、七月に行われる県吹奏楽コンクールに向けて、熱心に練習を重ねています。

今年度の生徒会は「虹架夢進（こうかむしん）」をスローガンに活動を展開しています。昨年度実施できなかった学校行事を成功させようと、コロナ感染症対策を徹底しながら企画を工夫しています。

生徒一人ひとりが、荒砥高校で学ぶことに喜びを持ち、自らの成長が実感できるように、教職員一丸となって取り組んで参ります。PTA、後援会の皆様には一層のご支援を賜りますようお願いを申し上げます。

令和三年度
 PTA役員

会長 横山 歩御
 副会長 松野 真樹
 文化部長 遠藤 茂男
 健全育成部長 佐藤 一彦
 菅間 務
 松田 昌輝

令和三年度
 後援会役員

会長 菊地 豊宗
 顧問 佐藤 誠七
 沼澤 政幸
 土方 俊男
 新野 晃敏
 青木 彰榮
 長澤 一雄
 早田 久次
 竹田 良一
 吉田 博之
 横山 歩御
 地主 佳子